

谷津小学校区が優勝

モリシア杯小学校区対抗少年野球

第36回モリシア杯習志野市小学校区対抗少年野球大会が10月16日から24日まで、第一カッター球場ほかで開かれた。

大会はモリシア杯少年野球実行委員会が主催し、開催・運営に当たっては感染症予防対策が取られた。開会式には全13チームが参加。招かれた小林鷹之経済安全保障担当大臣、宮本市長ほかの来賓が球児たちを激励した。

選手を代表して、谷津小学校区の武田選手が「ぼくたち選手一同は、コロナ禍でいままで当たり前だった練習や試合ができないことを経験し、野球ができることがいかに大切であるか感じた1年を過ごしてきました。まだ不安が残る中、たくさんの方の協力、ぼくたち6年生にとって最後の市内大会となるこのモリシア杯が開催されることに感謝します。そして、これまで支えて下さった多くの方に感謝し、仲間とともにグラウンドに立っている喜びを胸に、全員で最後まで全力で戦うことを誓います」と元気に宣誓した。

大会は降雨のため日程が調整されたが、熱戦が繰り返された。



優勝の谷津小学校区



準優勝の鷺沼小学校区



第3位の向山・谷津南小学校区



第3位の藤崎小学校区

得点重ねて谷津

準決勝戦第1試合はともみ大差で勝ち上がった谷津小学校区と向山・谷津南小学校区との対戦となった。1回裏、谷津は安打の清田が千原の犠打で先制。2回裏には四球の金子が相手エラーでかえり1点。3回裏には枝松、清田の連続二塁打、千原の適時打で2点を奪い4点差とする。強い風が吹く中、試合は進行。向山・谷津南は4回表、下川の三塁打、続く熊倉は内野ゴロだが、相手エラーで1点返す。

谷津は5回裏にも千原の二塁打と武田の適時打で1点を加える。再び4点差とされた向山・谷津南は最終7回表、熊倉は右前安打。代打の柳瀬は四球で一死走者一、二塁とし、二死ながら金井は粘り、内野安打で1点。戸井の内野ゴロは

大会結果は次の通り。

▽1回戦

津田沼小 7-3 実籾小
向山・谷津南 11-0 秋津・香澄小
実花小 5-4 東習志野小
藤崎小 10-3 大久保小
鷺沼小 9-7 屋敷小

▽2回戦

谷津小 17-1 津田沼小
向山・谷津南 11-0 神奈川東小
藤崎小 7-4 実花小
鷺沼小 4-3 大久保小

▽準決勝戦第1試合

向山・谷津南小学校区	000100023
谷津小学校区	112010X5

鷺沼が逆転勝ち

準決勝戦第2試合は鷺沼小学校区と藤崎小学校区との顔合わせとなった。1回裏、藤崎は安打の深野が悪投球などで三塁へ。今村、西牧はともに四球で満塁。泉水の三塁ゴロに間に深野がかえり、山谷は捕飛だが、捕球後走塁で今村が本塁を陥れて2点目が入る。2回、3回はともに無得点。鷺沼は4回表、先頭の山下が右前安打、盗塁。川野の適時打で1点を返す。さらに5回表、中里は死球で、池尻は内野ゴロだが送球エラーで二死走者二塁と

準決勝戦第2試合

鷺沼小学校区	00014005
藤崎小学校区	20000002



鷺沼・川野選手の逆転打(準決勝戦)

準決勝戦第2試合は鷺沼小学校区と藤崎小学校区との顔合わせとなった。1回裏、藤崎は安打の深野が悪投球などで三塁へ。今村、西牧はともに四球で満塁。泉水の三塁ゴロに間に深野がかえり、山谷は捕飛だが、捕球後走塁で今村が本塁を陥れて2点目が入る。2回、3回はともに無得点。鷺沼は4回表、先頭の山下が右前安打、盗塁。川野の適時打で1点を返す。さらに5回表、中里は死球で、池尻は内野ゴロだが送球エラーで二死走者二塁と

▽決勝戦

谷津小学校区	201000058
鷺沼小学校区	000000101

▽バッテリー 千原、枝松、武田(谷津) 池尻、

細澤 山下(鷺沼)
 △本塁打 武田(谷津)
 △三塁打 渡邊(谷津)
 △二塁打 清田、枝松、井上、渡邊(谷津) 川野、國枝(鷺沼)

【後記】
 決勝戦は4年ぶりに、谷津小学校区と鷺沼小学校区との対戦となった。1回表、谷津は2番清田が左越二塁打を放ち、4番武田の本塁打で2点先取する。その回裏の鷺沼は3番山下が安打と相手エラーで二塁に進むが無得点。2回はともに内野安打などで走者を出すものの、得点できない。谷津は3回表、一死から清田が左前安打。清田は盗塁と3番千原の内野ゴロで三塁へ。2打席目の武田は中前適時打で、清田がかえり、谷津は着実に加点し3点差とする。3回裏、谷津・先発の千原は二三振を奪う力投を見せるが、鷺沼の2番池尻に四球。池尻は盗塁を見せ、送球エラーで二塁へ。続く山下は外野を抜ける当たりだが、谷津の左翼手・田崎の見事な捕球で得点を阻まれる。

4回の谷津は7番渡邊が三塁打、鷺沼は左前安打の4番川野が三塁まで進むがともに無得点。5回表の谷津は清田が3本目となる左前安打。清田の盗塁と武田の内野安打と盗塁で二死走者一、三塁とするが鷺沼の継投・細澤に抑えられ、6回表も渡邊に安打が出るが追加点を奪えない。

鷺沼の得点機は6回裏。先頭の山下が中前安打と川野の中越二塁打で山下がかえり2点差とし、川野は内野ゴロで三塁に進むが、谷津の継投・枝松が後続を抑えて追加点を許さない。最終7回表、谷津の攻撃は1番枝松から。枝松は左中間一塁打、清田の4打席目は左飛。千原、武田は四球で一死満塁に、5番金子は右前安打で枝松がかえり1点。6番井上の右翼線二塁打で2点を加えてこの回3点目。続く渡邊も左中間二塁打で金子、井上がかえり5点を奪い、7点差とする。鷺沼の最終回裏の攻撃は先頭の8番國枝が左中間二塁打で好機を生み出そうとするものの、谷津の三番手投手・武田が2者を抑えて締めくくった。

谷津小学校区の武田選手は「優勝から遠ざかった大会で、どうしても勝ちたいと集中し、気合いを入れて臨みました。学校の先生たちに最後まで応援していただき、良いプレーができ、最高の結果が出せました」と話した。

モリシア津田沼で少年野球写真展

モリシア津田沼では「第36回モリシア杯習志野市小学校区対抗少年野球大会」の様子を撮影した「モリシア杯少年野球写真展」を開催予定。球児たちの熱戦の模様が紹介される。



先制の2点本塁打を放つ谷津武田選手(決勝戦)